

生涯教育研修会報告書
学発番号 第 11-070 号

平成 24 年 01 月 17 日報告
報告者: 薄田 那津子
所属: 京都大学医学部附属病院
連絡先: 075-366-7568
主題: PSG 講座 第 2 回 “睡眠と不整脈”
講師: 加藤 紀之 氏
日時: 平成 24 年 01 月 13 日 (金) 18:30~20:00
場所: 京都大学医学部附属病院 第一臨床講堂
講師所属: フクダライフテック株式会社
分類: 生体検査 20 点
全体参加人数: 23 人
京臨技会員参加人数: 1 人
以下、講演内容など

睡眠と不整脈について、講習会が行われた。

まず、SAS（睡眠時無呼吸症候群）と不整脈についての説明があった。
PSG で報告すべき項目として、AASM2007 から不整脈の判定が加わったとのことであった。

次に SAS が循環器系に及ぼす影響として、SAS の病態生理や、洞性・徐脈性・頻脈性の各不整脈と SAS との関係について、海外文献等を用いての説明があった。中でも SAS と頻脈性不整脈との関係を示した報告が多く、さらに SAS の重症度が AF の合併率に関係し、また、それらの患者に対して CPAP（経鼻的持続陽圧呼吸療法）が不整脈の抑制に寄与するという報告もあるとのことであった。

最後は、PSG 検査でみられた不整脈の一例と不整脈発生時の対応の流れについてであった。各施設で対応についての流れを確認する必要があるが、日本睡眠学会からも 2012 年 3 月には「PSG 安全管理基準」を作成されるとのことである。

今回の勉強会は、SAS と不整脈の関連性と注意すべき不整脈の説明であった。

不整脈の基礎と SAS の病態生理を踏まえていた為、解りやすく参加者もよく理解できたと思われる。

（ 報告者 薄田那津子 ）